

『時事直言』 No.1635 2023年11月9日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

暴落は思わぬ時にやって来る！

2021年には「2022年はリセッションになる」が80%のアナリストのコンセンサスであった。2022年になると「2023年はリセッションになる」が90%のアナリストのコンセンサスになった。

今日は70%以上のアナリストは「2024年はリセッションになる」と言う。

2022年12月のニューヨークダウ平均は34,300ドル、2023年11月8日の株価は34,200ドル。

では2024年12月の株価はどうなるのだろうか。

今日のアメリカ経済は好況である。

いまだにレストランの予約は1-2か月フルブックである。

高級品の店は満員。

クルーズも満席。

不況などどこ吹く風である。

好不況の決め手は「消費」である。

高金利にもかかわらず衰えない消費がアメリカ経済好況最大の支えである。

ところがアメリカの消費の中身を見ると、家計の負債は17兆2,470億ドル(約2,600兆円で過去最大。)

クレジットカード残(負債)は1兆7900億ドル(270兆円)で過去最大。

消費者は信用枠をフルに使っている。

その為返済遅延率が増加している。

消費者はもうこれ以上贅沢が出来なくなっている。

FRBの利上げのあおりで住宅ローンの金利が過去最高の8%になっている。

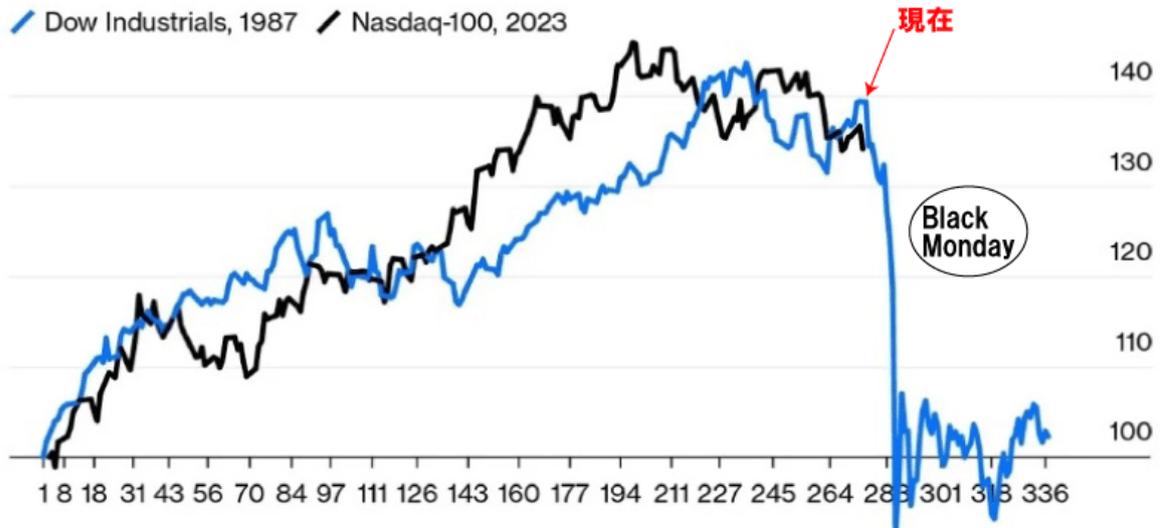
これでは住宅は買えない。

アメリカのGDPの70%以上を占める消費の中身を見ると、アメリカ経済は今がピークであることがわかる。

次ページチャートをご覧ください。

Avert Your Eyes

The Nasdaq's progress this year is spookily similar to the Dow in 1987



ここ数年の株価の動きはブラックマンデーが起きる寸前までの株価動向と全く一致している。

チャートからすれば明日から暴落が起きてもおかしくない。

「FRBは2023年中旬に利下げをすることになっているのだから、2023年リセッションなどあり得ない」と言われれば、誰も安心するだろう。

オオカミが来る、オオカミが来ると言って三回目になる。

「三度目の正直」になるかどうか。

増田塾の皆様にお知らせします。

好評先行受付中！増田俊男の小冊子 Vol.137

『第三次世界大戦必至！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 137 は好評先行受付中です。

内容は、*何故世界大戦が起きるのか？ *それは、、、だから！ *では市場はどうなる？ *それは、こうなる！ *我々日本人はどうしたらいいのか？ *それは、こうしたらいい！
です。価格は、1冊 4,800 円(税・送料別)。

詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。